

夜空をこがすサイの神

文・川村正史 絵・伊藤栄一

さとのうた

久しく絶えていたサイの神行事が、白井下組若衆連の手で復活してから今年で6年目。燃えさかる炎への畏敬と、そこに神の宿りを見つけ、無病息災を祈る

人々の心は昔もいまも変わらない。日暮れとともに、正月の飾り物、古いお札を焼きにくるお年寄。習字の上達を願って書き初めを持ってくる子どもたちに豆もちが配られる。甘酒とスルメの香が漂う中で、若衆連の気炎、孟宗竹の力強く弾ける音、渦を

巻いて舞う青白い火柱。それらが混然一体となり、雪解の夜空を鮮やかに彩る。今年もその2月15日が間近かだ。準備の始まりとともに、いまから心が騒ぐ。



川村正史さん (白井)



広報ひろね

2 昭和56年 月1日号 No.293

ズームアップ 市民の足確保に午前3時の除雪 2~3
まちの話題 ミニスキー場は大盛況ほか 4~5
市民談話室 最近の少年非行に思う 6~7
あの日あのとき 昭和38年の豪雪 8
県立白根高校校定時刻が閉課程に 9
市政の動き 税金の申告は3月16日までに 9
市民の広場 お正月カルタ大会/チビっ子画廊/市史よもやま話/市民文芸/ママのコーナー/白井吟詠会/わが家のアイドル/情報センター297 10~12

発行/白根市役所(大字白根1235 ☎0253㉿2111 〒950-12)

◇人口の動き 1月1日現在 人口33,670人(前月比-15) 男16,391人 女17,279人 世帯数 7,525



「仮面ライダーの変身のマネが得意なんです。何でもよく食べますが、カレーライスが大好き。明るく素直な子に育ってほしいです」(母親・礼子さんの話)

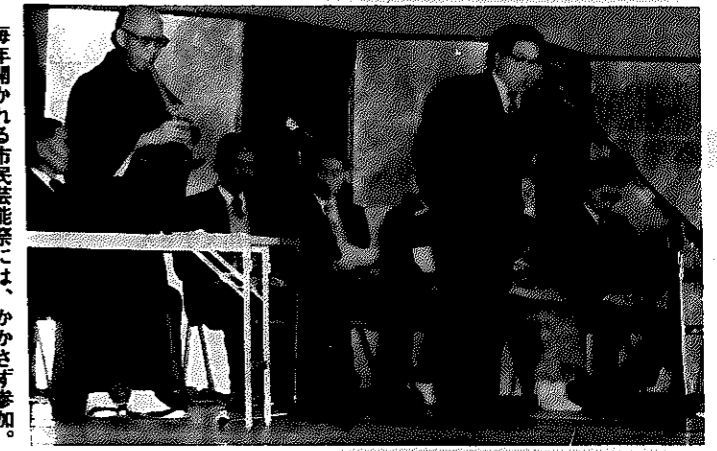
わが家のアイドル

原 友和くん(1歳6か月) 進さんの長男=下山崎



おばあちゃん 早く元気になって 白根小学校4年 和田紀彦

ほくのおばあちゃんは、去年の秋から病気で寝ています。でも、正月ごろからだいぶ元気になりました。おばあちゃんが元気なころは、ぼくとお兄ちゃんに、みかんの皮をむいてくれたり、一緒にトランプしたり、昔ばなしを話してくれました。おばあちゃんもつと元気になって、またぼくたちと一緒に遊んでくれるといいと思います。写真は、紀彦くんと下枝さん(七十七歳・魚町)



毎年開かれる市民芸能祭には、かかさず参加。日ごろの練習のノドを披露します

詩吟の道にいそしむ

曉風流 白井吟詠会

詩吟に魅せられ、熱心に吟道にいそしむ人たちの集まりが、白井にあります。昭和五十年二月に結成され、六年の歴史をもつ曉風流 白井吟詠会(新田文治会長)がそれです。会員は二十五人。夫婦で参加している人など、婦人会員が多いのが大きな特徴で、なごやかな雰囲気があります。毎週水曜日、午後七時三十分から白井・伝哲寺で定例会をもち、練習に励んでいます。会の事業としては、毎年市民芸能祭や、曉風流の講習会(昇段審査と発表会)に参加し、練習の成果を発表。また会員相互の親睦事業も盛んです。最近、詩吟に興味をもつ若者も増えているとのこと。そこで白井吟詠会では、まず小・中学生に詩吟を普及したいという



【会員の声】 新田和枝さん (農業・白井)

主人が詩吟をやっていたことから、私も入会させてもらいました。健康的にもよく、親しい仲間も増え、人前で声も出せるようになりました。若い人たちの詩吟愛好者が少ないですね。もっと普及していきたいと思っています。

お知らせ「ご参加」 「お知らせ」 「ご参加」 「お知らせ」 「ご参加」 「お知らせ」 「ご参加」

庄瀬・小林地区 2月12日 午後1時30分から4時まで
平沼新田の一部
鷺巻地区 2月6日 午前8時30分から正午まで
西笠巻新田、東笠巻新田の大部分 2月13日 午前8時30分から正午まで
東北電力白根営業所(☎3141)

情報

記号の説明
○とき
□対面者
□内容
□問い合わせ
情報提供は ☎73-2111㉿297へ